



テクニカル・メッセージ

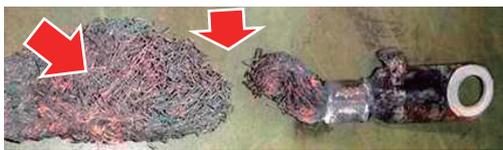
エンジンアース線が腐食や断線した状態で使用し続けると
車両火災に至るおそれがありますので点検をお願いします

融雪剤の付着や経年でエンジンアース線が腐食・断線すると、エンジンアース線の導通が悪くなり、エンジンの始動性の悪化や、エンジン始動時にエンジンと車両に繋がる部品に電流が流れ、焼損・火災につながるおそれがあります。点検整備時には、エンジンアース線の「素線」、「端子の表面」、「かしめ部分」、「取り付けるエンジンやフレームの締結部分の汚れ・錆び等」を確実に点検していただけるようお願い致します。

■ 対象車両

大中小型トラック・バス全車

素線が錆・腐食で断線している事例



端子（締結部）、素線が発錆している事例



※エンジンアース線のタイプは車両によって異なることがあります。

パワーステアリングホースの表面ゴム部が
焼損に至った事例



腐食・断線すると、電流はエンジンアース線
を流れずパワーステアリングホースに流れ込み
ホースが発熱・焼損に至ることがあります。

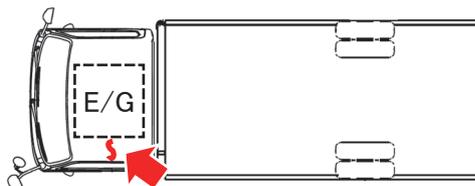
■ 点検部位

エンジンアース線点検箇所について（年式・仕様により位置が異なる場合があります）

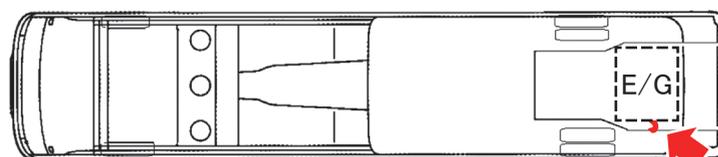
大型トラックの例
※セミトラは左側



中小型トラックの例



大型バスの例



日野自動車

■ 交換の目安

交換は不要です ○		交換が必要です ✕	
アース線の拡大	外観の状態	アース線の拡大	外観の状態
	正常なアース線 銀色／白色		長期使用で腐食したアース線 緑錆／赤錆色 素線切れ 断線
	正常なアース線と フレーム締結部分 錆、腐食なし		腐食したアース線と フレーム締結部分 錆、腐食あり
	アース線を取り外した 締結部分 錆なし		アース線を取り外した 締結部分 錆あり
	アース線の端子（締結 部）のカシメ部分 銀色 錆、腐食なし		アース線の端子（締結 部）のカシメ部分 錆、腐食あり （カシメ部の素線含む）

■ 点検ポイントと交換作業時の注意点

- ・ エンジンアース線に腐食・素線切れ・断線等の異常を確認した場合、使用を継続せずに新品に交換してください。
- ・ パワーステアリングホースは耐圧性を上げる為、金属のワイヤが入っています。エンジンアース線、締結部分等に錆や損傷が見られたら、必ずパワーステアリングホースを確認し、オイル漏れやひび割れがないか点検し、異常があれば交換してください。
- ・ エンジンアース線を交換する際は、締結部の汚れや錆等を除去してください。
- ・ 年式により座面やネジ部に加工が施されたアースボルトを使用している車両があります。その場合は座面やネジ部に加工のない一般のボルトを使用せずに、正規のアースボルトを使用してください。
- ・ 定期点検時には毎回確認を行っていただけますよう、お願い致します。

点検方法やご不明な点がございましたら、最寄りの日野販売会社までご相談ください。